

岡山市立桑田中学校

設計 阿波設計事務所 四国支店

施工 広成建設・蜂谷工業・小倉組特定建設工事共同企業体

所在地 岡山市北区東島田町二丁目

OKAYAMA CITY KUWADA JUNIOR HIGH SCHOOL

architects: AWA ARCHITECTS



近年、学校における学習活動の様相が変化してきており、多様な学習内容、授業形態への対応が不可欠です。

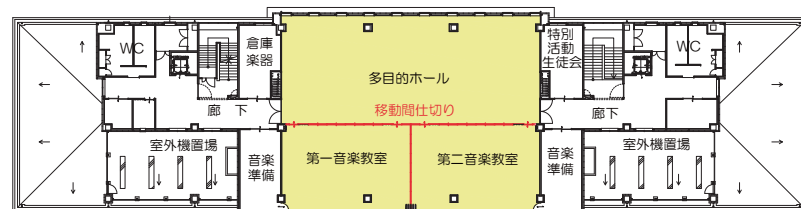
新しく生まれ変わった桑田中学校は、1階部分は3つのエリアに区分し、正門側の西エリアが学校開放ゾーン、中央エリアが特別支援教室ゾーン、グラウンド側の東エリアは保健室などの管理ゾーンとし、それぞれの役割・機能を果たす配置としています。生徒昇降口は東西2箇所設け、南北どちらへも通り抜けが可能であり、上階への移動は直近の階段とエレベータを利用します。2階は管理ゾーンでまとめ、来校者の受付を2階の事務室で行う為、来客玄関からの動線については分かりやすいように配置しました。普通教室は学年ごとに同一フロアーとし、3階から5階までとしています。多目的室やオープンスペースを普通教室の周りにおくことにより多様な学習や活動に対応できます。

6階は音楽室と多目的ホールを配置し、ひとつの空間として一体的な利用が可能です。

「明るく生き生きと学校生活が過ごせる場」を提供し、生徒と教師が繋がり合い、交流・連携を教育に活かしていける学校となるよう願っています。

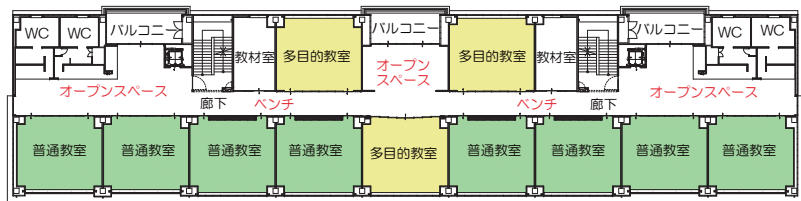
1 南西から外観を見る。施設の正面玄関であり、アクセントカラーを大胆に使用し、シンボルとして引き立たせている。| 2 グラウンドから外観を見る。アクセントカラーとの校名ロゴデザインを自立たせることで、学校への愛着や敬愛心が向上し、運動や部活動の活性に繋がる。| 3 南から外観を見る。シンメトリー（左右同形）で整然とした教室が並び、集団生活の中で「秩序・規律」を身に付ける教育施設としてあるべき姿を印象付けるデザインとしている。| 4 日陰となる北側は、6階建ての圧迫感を解消するため、カーテンウォールやアルミ格子のバルコニーによる軽快で変化に富んだデザインとしている。





6階は音楽室と多目的ホールを配置し、移動間仕切りによって、それぞれの室として利用可能であり、ひとつの大空間としても利用できます。

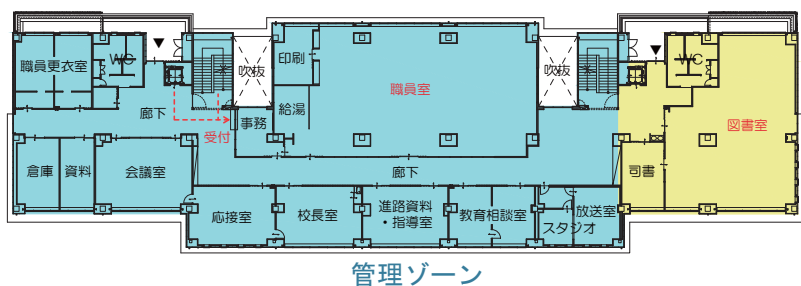
6階平面図



普通教室は学年ごとに同一フロアの3階から5階までとしました。オープンスペースや多目的教室を普通教室の廻りに配置することによって、多種多様な学習や活動に対応できます。

生徒数の増加に柔軟に対応できるように、多目的教室と普通教室は同仕様とします。

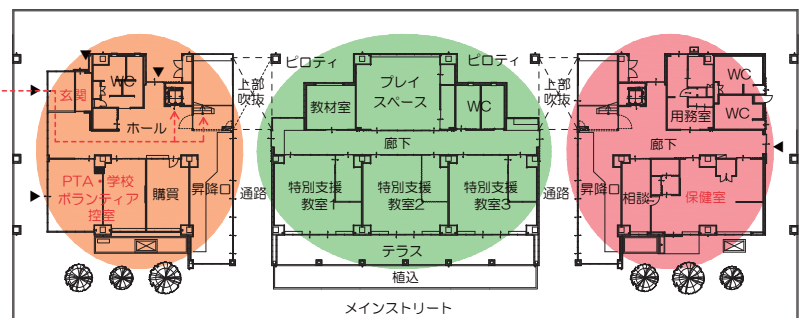
3～5階平面図



管理ゾーン

2階は管理ゾーンでまとめ、来校者の受付は事務室で行い、来客用玄関からの動線がわかりやすいように配慮しました。内装仕上げは教室ゾーンとは雰囲気を変え、明確な執務エリアを構成しました。

2階平面図



● **学校開放ゾーン** 正門に近い側とする
● **特別支援教室ゾーン** プライベートに配慮する
● **ケアゾーン** グラウンド側とする

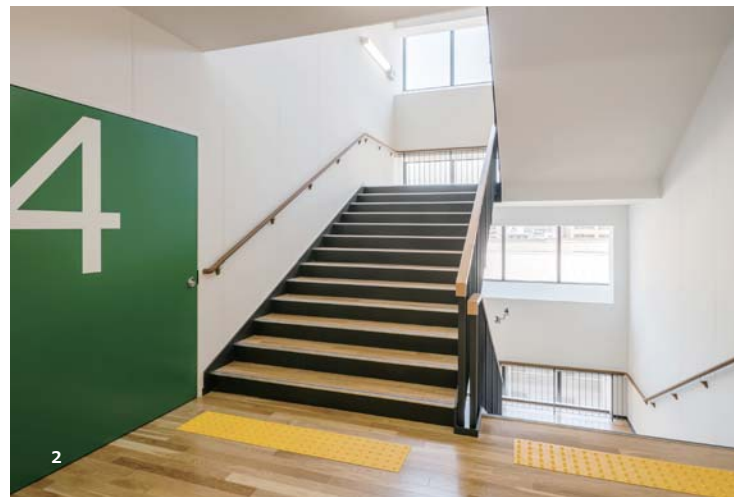
1階部分は3つのエリアに区分し、正門側の西エリアが学校開放ゾーン、中央エリアが特別支援教室ゾーン、グラウンド側の東エリアは保健室などケアゾーンとし、それぞれの役割・機能を果たす配置とします。

生徒昇降口を東西2か所に設け、南北どちらへも通り抜けのできる自由な動線を確保しました。

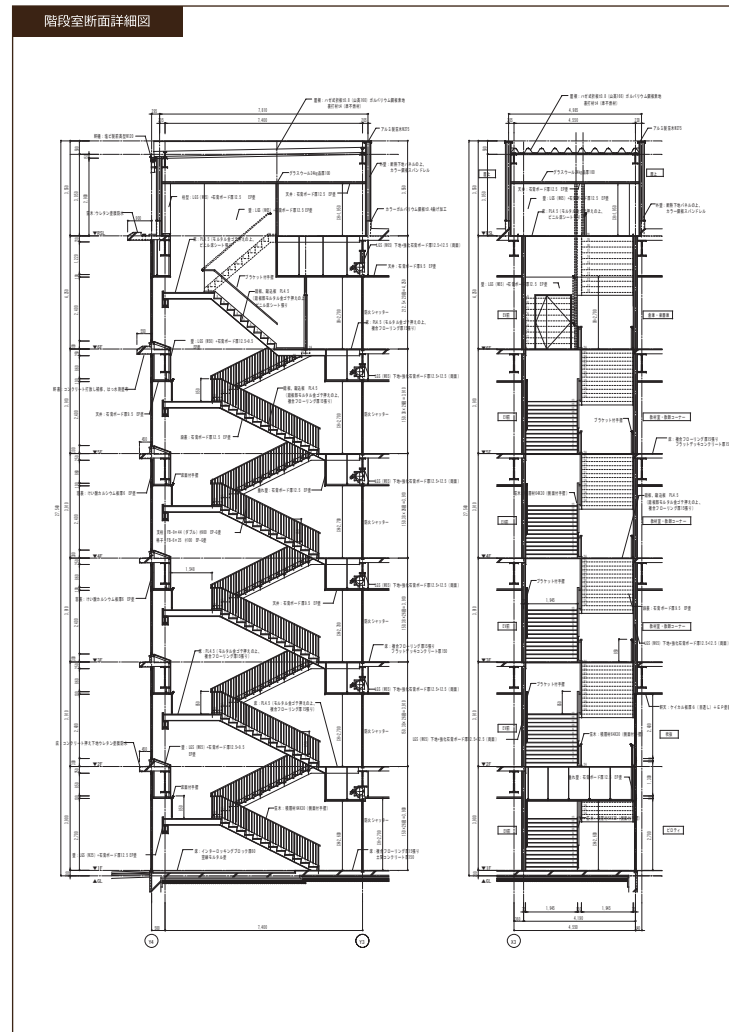
1階平面図

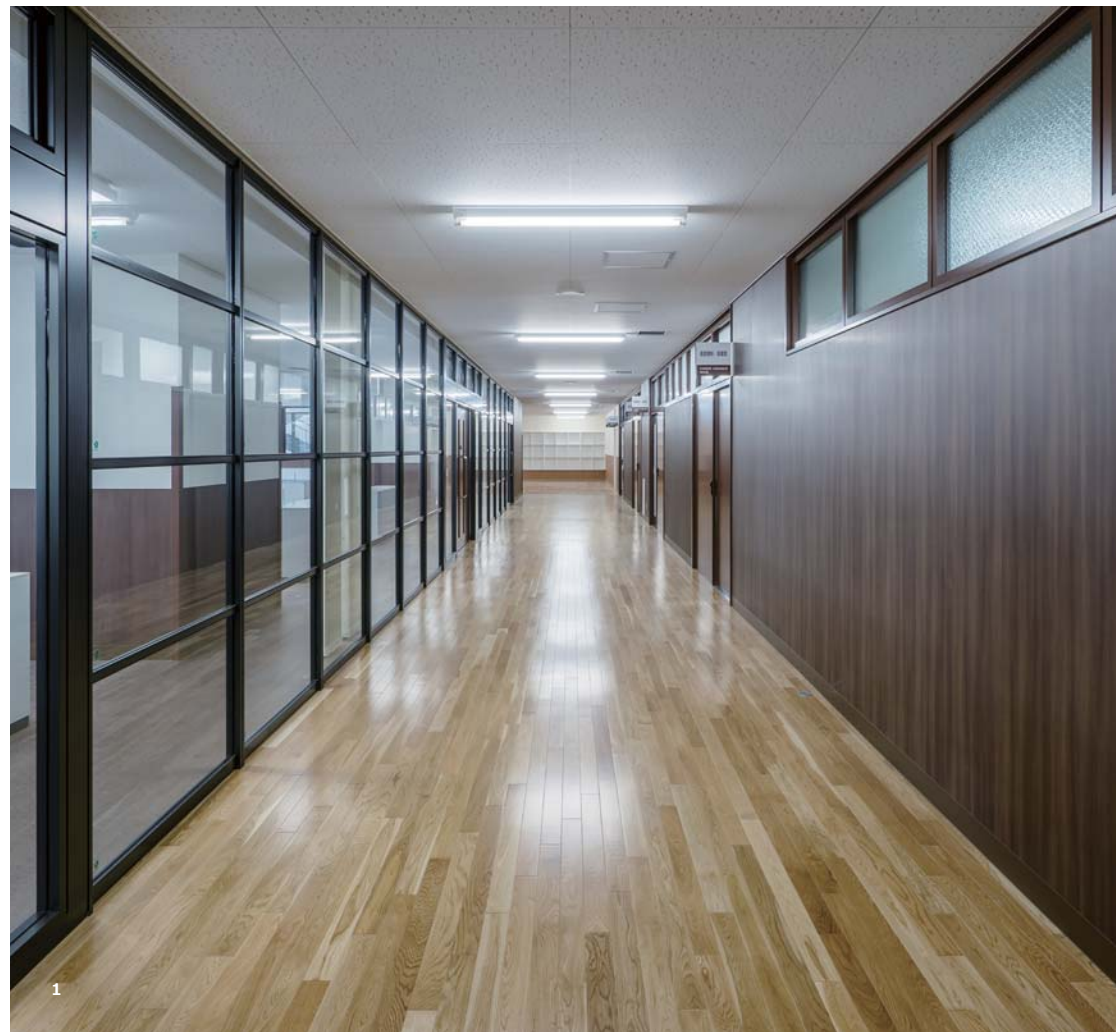


1 1階生徒昇降口。内部にも外壁と同様のタイルを張ることでピロティとの一体感を感じることができる。| 2 普通教室の後方から前方を見る。| 3 普通教室の前方向後方を見る。各階共通で木目調の腰壁パネルを採用。耐衝撃性と温もりの心理効果があり、優しい空間づくりを行っている。| 4 教室前廊下の一部にはベンチを設置し、休み時間の交流スペースとして利用できる。| 5 教室前廊下からオープンスペースを見る。廊下の幅を広くすることで、オープンスペースとの繋がりを感ずることができる。トイレのサインは分かりやすいように壁面にデザインしている。| 6 1階男子便所。白を基調とすることで、清潔感のある空間に仕上がっている。



1 階段室は開放感のある空間とし、行き交う人の流れが見える。| 2 4階廊下から階段室を見る。各階の防火戸には階数のサインを施してある。| 3 図書室は落ち着きと趣のある雰囲気としている。蔵書数は約2万冊。| 4 普通教室からオープンスペースを見る。普通教室の間仕切りを全開口することでオープンスペースと一体的に使用できる。| 5 多目的ホールを見る。音楽室との境は移動間仕切りを採用。芸術性を高めたクラシックな仕上げとしている。| 6 第一音楽室から第二音楽室を見る。多目的ホールと合わせて最大 560㎡の大空間が可能であり、様々なイベントに利用できる。





URBAN & SMART SCHOOL

岡山市立桑田中学校
 所在地 岡山市北区東島田町二丁目3番35号
 主要用途 中学校
 施主 岡山市
 設計・監理 阿波設計事務所 四国支店
 施工 建築 広成建設・蜂谷工業・小倉組
 特定建設工事共同企業体
 空調・衛生 五洋工業
 電気 平和電気
 地域地区 商業地域
 敷地面積 19,201.43㎡
 建築面積 1,794.21㎡
 延床面積 8,525.56㎡
 階数 地上6階
 構造 鉄骨造
 工期 2014年9月～2016年12月



1 2階職員室前廊下を見る。職員室はガラス張りとし、オープンな職員室にすることで中の様子が窺える。| 2 1階玄関からホールを見る。PTA・学校ボランティア控室の出入口がありアクセスしやすい。| 3 職員室は全体が見通せる大執務空間を確保した。OAフロアを採用し、自由な机配置に対応できる。| 4 PTA・学校ボランティア控室を利便性の良い玄関付近に配置し、外部からも直接出入りができ、積極的な活用を推進する。可動間仕切り壁で部屋を仕切れることも可能。| 5 1階多目的室。市民が利用することを想定して、様々な機能が備え付けられている。

